

教育センターだより

平成29年度 第3号

黒部市教育センター

「最後の砦」

黒部市教育委員会

教育長職務代理者 熊野勝巳

10月に神戸製鋼が製品データを改ざんしていたという不正が発覚しました。6000社に影響があるといえます。日産自動車では無資格者が最終検査をしていた不正が発覚しました。今年はその他にも東洋ゴムの免震ゴムのデータ改ざん不正等、大小様々なことが報道されました。8月には山梨市職員採用贈収賄不正で市長、校長が逮捕ということもあり、ショックを受けたものです。

日本は「恥」の文化と言われてきました。恥を一番嫌い、正義を重んじてきたはずです。不正は一番の恥であり、武士の世なら切腹ものでなかったかと思えます。それ故、日本の会社、日本の技術、日本の勤勉さ、ひいては日本人が世界から信用され、尊敬されてきたのではないのでしょうか。にもかかわらず、名のある企業がこれです。何かおかしくなっていないかと思うのは私だけではないでしょう。

このような話題を日常的に聞かされる子供たちは何を信じていけばいいのでしょうか。このようなことを子供たちから問われたら何と答えればいいのでしょうか。正直者が馬鹿を見ると感じないのでしょうか。学校では希望、勇気、真理、努力、遵法精神、正義、人間愛などを指導の柱に日々奮闘しておられます。先生方はこのようなニュースが出るたびに冷や水を浴びせられ、虚しくなられるのではないのでしょうか。「こんな世の中だもの。学校で一生懸命やっても無駄だ」と思わないでいただきたいと思います。家庭、地域の教育力が低下していると言われて久しく、虚しくなるようなニュースもあふれています。だからこそ、学校でしっかりと指導することが必要なのです。私は学校が最後の砦であると思っています。家庭や地域では照れくさくて言えない、真理、勇気、愛、正義などを面と向かって堂々と話ができるのは学校だけなのです。今後ますます指導しにくい世の中になりそうですが、先生方には最後の砦を守ってほしいと切に願っています。

教員時代にこんな場面に出くわしました。廊下のロッカーの隅から生徒同士の会話が聞こえてきたのです。

A：「明日、漫画もってこようぜ」

B：「そんなん持ってきていいがか」

A：「見つからんにゃいいわよ」

Aをそのまま卒業させる学校ではいけません。



豊かな関わり合いの中で主体的に学ぶ生徒の育成を目指した取組

黒部市立高志野中学校

1 振り返りの場を工夫した授業づくり

- (1) 関わり合いを生む指導の工夫として、個→(グループ・ペア)→全体→個の授業展開を各教科で意識して実践した。

(グループ学習を中心とした授業実践例：1年英語)

- canを使った疑問文と答え方の口頭練習を行う。
 - ・Can you (play / cook / swim) ~? 全体 ペア
 - ・Yes, I can. / No, I can't.
- 「できること」についてインタビュー活動を行い、おどろいた情報ベスト1を選ぶ。 全体
- ・Can you ? - Yes, I can.
- ・Can you cook curry? - No, I can't.
- グループ内で発表し、グループの中でベスト1を選び英語で書いて表現する。 グループ
- ・ホワイトボードに英文を書く。
- 各グループの代表者が発表する。 全体
- ・人 can cook curry. / 人 can play shogi.
- インタビュー活動での対話を英語で書く。 個
- 本時の振り返りを行う。 ペア 全体
- ・本時で分かったことや疑問に思ったことをペアで確認する。
- ・自己評価を記入する。



グループ内で教え合う様子

グループ学習を重点的に取り入れることにより、互いに教え合うなどして、生徒の理解が高まった。

- (2) 学習の振り返りを徹底するために、教科ごとに振り返りカードを設けたり、ノートに振り返りの欄を設けたりして取り組んだ。

◎大変よい ○よい △もう少し ▲がんばろう

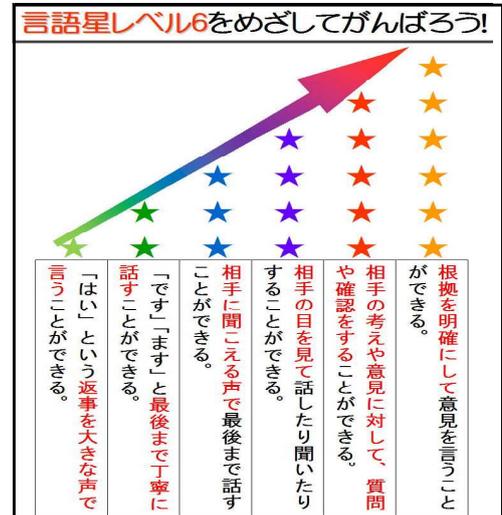
月/日	学習内容	学習態度		発表・話し合い (言語星)					学習を振り返って よく分かったことや おぼろしかったこと等
		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	
	アジア州の自然環境								

※振り返りカード例 (社会)

振り返りカードに取り組むことにより、生徒自身が、1時間の授業で分かったこと等を意識できたとともに、教師にとっても、生徒の理解状況が把握でき、次時の授業に生かすことができた。

- (3) 「言語星レベル表」の活用

発言の仕方や声の大きさを明記した「言語星レベル表」を教室に掲示し、生徒にも配布した。一人一人が授業中に意識して取り組むとともに、学習委員会が中心となり各教室で呼びかけを行った。



グループ等での情報交換を意欲的に行うようになり、他の意見を参考にしながら考えを深める姿勢が育った。

2 家庭と連携した学習時間の確保

- (1) 学期毎の定期考査の際に「省メディア週間」を設定した。生徒と保護者が相談の上、考査期間中のメディア (テレビ、PC、携帯端末等) の使用時間を決め、学習時間を確保する取組を行った。

- (2) 定期考査に向けて作成した学習計画表は、次に生かせるように台紙に貼り、自分の取組を評価している。保護者にも確認してもらい、励ましやアドバイスをもらっている。

- (3) 校紀委員会を中心に、時間を守って行動することを日常的に教室で呼び掛けている。また、毎月「生活振り返りカード」をもとに、生活の振り返りを行っている。

全国学力・学習状況調査の結果（黒部市）より

1 全体的な傾向

- 小・中学校ともに、全国の平均正答率を上回っている。
- 小学校では、国語A、B、算数Aにおいて、全国との差が昨年よりも大きくなっている。
- 中学校では、国語A、数学Aにおいて、全国との差が昨年よりも大きくなっている。
- 市内各小学校の平均正答率の開きは、昨年度と比較し大きく縮まった。
- ▲市内各中学校の平均正答率の開きは、昨年度と比較しわずかに広がった。

2 各教科の結果

<小学校 国語>

- 基礎的な漢字の読み書きに関しては、おおむね良好である。
- 基礎的なことわざの適切な使い方について、おおむね理解している。
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を正しく捉えて考えることができている。
- ▲手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題が見られる。
- ▲同音異義語について正しく理解して書くことに課題が見られる。
- ▲目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書くことに課題が見られる。

<小学校 算数>

- 数量関係を数直線上に正しく表すことができる。
- 基本的な四則計算を正しく解くことができる。
- 2つの数の最小公倍数を求めることができる。
- ▲資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題が見られる。
- ▲示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を理解したり、基準量と割合から比較量を判断し、その理由を説明することに課題が見られる。

<中学校 国語>

- 文脈に即して正しく漢字を書いたり読んだりすることに関しては、おおむね良好である。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。
- ▲表現の仕方（比喻表現）を捉え、自分の考えを書くことに課題が見られる。
- ▲相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫することに課題が見られる。

<中学校 数学>

- 分数の乗法や一元一次方程式等、基本的な計算問題はおおむね解けている。
- 一次関数のグラフの傾きや切片の意味を正しく理解しており、値を基に、 x と y を使った式で表すことができる。
- ▲事象に応じた式やグラフの傾向を適切に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

3 課題が見られる問題と学習指導上の留意点

小学校 国語B 設問番号2の三 協力を依頼する文章を書く

学習指導要領の領域等：5・6学年B書くこと

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、書く能力 問題形式：記述式

「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の「イ」に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く問題。目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかが出題の趣旨であった。

【アドバイス】

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとて大変だったなあ。

まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらしおれかけていたこともあったよ。

それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。

水やりは大変だったけれど、すずしい夏が過ごせて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。

何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。

三 森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの「アドバイス」をもとに、「緑のカーテン作りへの協力をお願い」の中を書いています。次の「イ」の中の内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

水やりに協力してくれる人をぼ集めます

大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとて大変です。なぜなら、

イ

このように水やりはとて大変なので、たくさんの人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごしましょう。

【緑のカーテン作りへの協力をお願い】

2

緑のカーテン作りへの協力をお願い

6年1組 森・中村・秋山

夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることになりました。

緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日差しをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれませんが、しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げるすることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「ア」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。

水やりに協力してくれる人をぼ集めます

【学習指導上の留意点】

この協力を依頼する文章の目的が、「夏までに大きな緑のカーテンを作るために、多くの人の協力が必要であることを伝える」ということを踏まえる必要がある。その上で、水やりが大変な理由を【アドバイス】の内容から2つ取り上げ、【緑のカーテン作りへの協力をお願い】の中の「水やりに協力してくれる人を募集します」の「イ」の部分、協力を依頼する文章にふさわしい表現で書く必要がある。

読み手に自分の伝えたいことが分かるようにするためには、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関連付けたりしながら、必要な内容を整理して書くことが重要である。具体的には、本設問のように、目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫し、書く事柄を収集した上で、その中から具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導することが考えられる。

小学校 算数 A 設問番号 7 立方体の面と面の位置関係

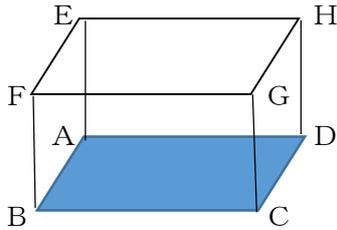
学習指導要領の領域等：4年C 図形

評価の観点：数量や図形についての知識・理解 問題形式：選択式

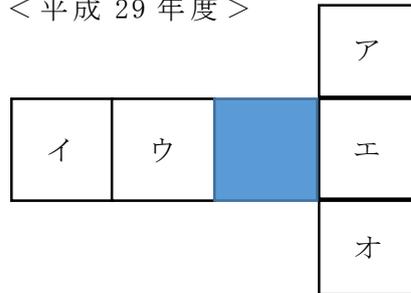
立方体の面と面の位置関係を理解しているかどうかを見るのが出題の趣旨であった。

昨年度は、見取り図から、示された面と垂直な面を選ぶ問題が出題された。今年度は、展開図から、示された面と平行な面を選ぶ問題が出題された。どちらの正答率も、全国平均を若干下回っていたが、今年度は全国平均との差が約5ポイント向上した。

<平成28年度>



<平成29年度>



【学習指導上の留意点】

昨年度に比べて正答率は上昇し、全国平均との差も縮まっている。授業で立方体や直方体の特徴を扱う際は、1つの面を基にした時、向かい合う1面が平行であり、その他の接し合う4面はすべて垂直の関係にあるという位置関係を、具体物等を使った体験を通して学ばせたい。

小学校 算数 B 設問番号 5 日常生活の事象の数学的な解釈と判断の根拠の説明

学習指導要領の領域等：5年D 数量関係

評価の観点：数学的な考え方 問題形式：選択式

割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができるかどうかを見るのが趣旨であった。



最も小さく見えるとき（イメージ）



最も大きく見えるとき（イメージ）

(1) 「最小の満月の直径」を , 「最大の満月の直径」を とし、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【学習指導上の留意点】

4を選んだ児童は、「14%長い」ということを正しく捉えることができずに、割合と量を混同し、目盛りの数を数えて14目盛りに着目して判断していると考えられる。

基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。割合の学習では、日常生活の事象を割合を使い数学的に解釈する発展的な学習に取り組むことを大切にしたい。

中学校 国語B 設問番号2の三 スピーチをする

学習指導要領の領域等：1年A 話すこと・聞くこと、2年B 書くこと

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、記述式

スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す問題。相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかを見るのが出題の趣旨であった。

40	玉	を	受	け	止	め	る	と	き	は	、
40											

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

三 石井さんは、「大皿」を受けて、「ひびき」の「大皿」を受け止めるときは、今私がやったように、「玉」を聞き手に分かりやすく伝えるように話すことにしています。あなたならどのように話しますか。次の条件を参考にしなさい。

条件1 【本の一節】を参考にし、「大皿」にある「ひびき」の動きを動かすのか」と「なびき」を動かすのかを明らかに書くこと。

条件2 「玉を受け止める」ときは「」に続けて、四十文字以上、八十文字以内で書くこと（解答用紙に書かれたら合みません）。

【条件1】

三 回目の演技のときは、「ひびき」に気付けて見ればよいか分かりやすかったので、二回目の演技のときも同じようにすると思います。

【条件2】

「今私がやったようにひびきを動かすよかったです」ということは、どのようにひびきを動かすかが分かりやすかったです。それに、なびきを動かすよいかについても説明してほしいです。

【大皿】のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める瞬間、玉の真下に素早く皿を持つことです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。【実演①二回目】少し難しいかもしれませんが、何度も繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひびきをうまく動かすことです。では、ひびきの動きに注意して見てください。

【実演②三回目】始めにひびきを動かします。そしてひびきを捉えながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときのひびきの動きも重要ですよ。玉を受け止めたときは、今私がやったようにひびきを動かすよかったです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひこの二つのことに気をつけて、「大皿」という技をやってみてください。

【大皿】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を止めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように行います。まずはどのような技なのか見てください。【実演①一回目】

（実演）

【本の一節】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉の下の皿のように持ちます。次に、ひびきを受けながら、けん玉を下にして手を少し下げます。続いて、ひびきを落とすと、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める直前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持つことで、ひびきを受けながら受け止められます。またひびきを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひびきを曲げるのです。ひびきの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をゆるやかに受け止める必要があります。

【図】

【学習指導上の留意点】

本設問は、スピーチの内容の一部を、条件に従いながら、聞き手に分かりやすい内容に直すものである。

スピーチをする際に、自分の伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるためには、事実や事柄と、それに対する自分の考えや感想等との関係や何のために話すのかという目的に注意して話すことが重要である。

授業では実際にスピーチする場面を設け、リハーサルを行い、聞き手から質問したり、内容や伝え方について助言し合ったりする場を設けることが大切である。またその際、ICT機器を活用して、様子を録画・録音して話し方を振り返る活動も効果的である。

中学校 数学A 設問番号9 関数の意味

学習指導要領の領域等：1年C 関数

評価の観点：数量や図形などについての知識・理解 問題形式：短答式

長方形の縦の長さや面積の関係を、「・・・は・・・の関数である」という形で表現する問題。関数の意味を理解しているかを見るのが出題の趣旨であった。

本設問は、平成26年度の同趣旨の問題「関数の意味を理解すること」について全国的に課題が見られたため、その学習の状況の変化を把握するために出題された。

<平成 26 年度>

下の表は、ある運送会社の書類の宅配サービスの料金表です。

重量	100 g まで	250 g まで	500 g まで	1 kg まで
料金	150 円	190 円	270 円	320 円

このサービスで扱える書類の重量は 1 kg までです。

このとき、1 kg までの書類の重量と料金について、「重量を決めると、それにもなって料金がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 と に当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

<平成 29 年度>

縦と横の長さの和が 20 cm の長方形について、「縦の長さを決めると、それにもなって面積がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 と に当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

【学習指導上の留意点】

全国平均を上回っているものの、正答率は低く、課題が見られた。

様々な事象の考察を通して、関数の意味を理解できるようにするためには、事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を取り入れることが考えられる。その際、独立変数と従属変数との違いを意識して「○○は○○の関数である」という形で表現する場面を設定することが必要である。

第12回 黒部市小・中学校科学作品展 最優秀賞

今年度は、市内各校から優秀作品64作品が集まり、その中から下記の8作品が最優秀賞に選ばれました。さらに厳選された5作品が県出品となり、第76回富山県科学展覧会で賞を受けました。

(◆は県での受賞名)

○おり紙ひこうき いろいろじっけん
◆研究努力賞 桜井小2年 安田琥太郎

○カタツムリのかんさつパート2
～どのように大きくなっていくのかな?～
◆研究努力賞 中央小3年 橋 奏登

○めざせ!紙しょく人
ーすじすじとねばねばのひみつー
宇奈月小3年 長崎ふみ葉

○回れ コマ
たかせ小4年 八木 朝

○すごいぞ!新聞紙の力
KAMIの研究パート2
◆研究努力賞 石田小5年 飛弾 結花

○レンズ見え方実験
桜井中1年 長谷川 雄大

○アリジゴクの??? (なぞなぞなぞ) PART 5
～巣穴形成活動の解明～
◆研究努力賞 鷹施中2年 中瀬 結衣

○強い建物にするには?パートII
ー水分の多い地盤を想定ー
◆創意くふう賞 高志野中3年 岸 香介

第12回 黒部市少年少女発明くふう展 優秀賞

小学校163作品、中学校25作品の出品があり、合計は昨年度より22作品多い188作品となりました。その中から下記の60作品が優秀賞に選ばれて県に出品され、第55回富山県発明とくふう展では29作品が賞を受けました。児童生徒の部最高賞の発明協会会長奨励賞に桜井中学校の内呂勇揮さんの「水漏れストッパー」が選ばれるなど、受賞全体の4割以上を黒部市の作品が占める素晴らしい結果となりました。(●は県での受賞名)

○もりのジェットコースター
●奨励賞 石田小1年 小林 優真

○くっ つかみ
●優秀賞 中央小1年 沼田 創士

○ペットボトルほし
荻生小1年 長矢 空璃

○らくらくペットボトルあけ
●奨励賞 宇奈月小1年 中陳 結月

○じょうぶでエコな米袋(マイバッグ)
●奨励賞 生地小2年 黒部 瑛大

○お金をわけられるちょきんばこ
たかせ小2年 深井 瑛太

○のこらずボトル
●黒部市長賞 たかせ小2年 當田 莉沙

○じいちゃんの しっぷはり
中央小2年 佐々木恵二郎

○まわるべんりなはりねずみ
若栗小2年 荒崎 柚奈

○とびちらないピーラー
宇奈月小2年 沓掛 裕和

○ちょうせつえんぴつたて
●奨励賞 宇奈月小2年 徳道 天音

○すてきななべしき
●奨励賞 宇奈月小2年 小森 那珠

○くるくる動画
●奨励賞 生地小3年 小倉 大志

○カエル宣言 村椿小3年 大上戸結音

○筆洗い機 村椿小3年 森山 ゆり

○音がきれいなコロコロタワー
中央小3年 歌川 美桜

○かた手で そそげます
●優秀賞 中央小3年 寺田妃和佳

- どんどん出てくるティッシュケース
 - 優秀賞 桜井小2年 朝倉 来実
- びっくり プロジェクター
 - 奨励賞 荻生小3年 森田 光瑠
- かさまき 生地小4年 小柳 琉碧
- 冷んやり クーラーボックス
 - 生地小4年 中陳 桃那
- 無限ビー玉コロコロ
 - 生地小4年 長谷川 慎士
- かべに満開！コースタープッシュピン
 - 石田小4年 魚住 咲月
- ホームランキングマシーン
 - 石田小4年 小林 廉太郎
- 風ベルト 桜井小4年 内呂 幸慈
- くつつきぼうしキャップ
 - 奨励賞 桜井小4年 長崎 結華
- 片手でポンプ
 - 優秀賞 荻生小4年 城崎 慶太
- 名たんてい コメン
 - 若栗小4年 八木 聖良
- カラフルキャップで水吸収
 - 奨励賞 宇奈月小4年 谷口 颯
- 魚干しぞお 生地小5年 寶泉 陸斗
- 野球用ストッキングほし
 - 石田小5年 岩淵 七都
- きれいでかんたん ラクラクつめかえ
 - 奨励賞 石田小5年 中野 舞
- もう、キミをたおさない！！
 - 北日本新聞社長賞
 - 村椿小5年 今井 大稀
- 灯油ポンプのたおれ防止器
 - 優秀賞 中央小5年 鍛冶 悠登
- 自分で身長計れーる
 - 奨励賞 桜井小5年 濱住 悠至
- 洗濯機予約早見表
 - 桜井小5年 松嶋 晴生
- かさカップ
 - 奨励賞 荻生小5年 村上 留菜
- いつでも どこでも ボールネット
 - 若栗小5年 深川 吉誠
- 自動うちわ仰ぎ機
 - 奨励賞 宇奈月小5年 清河 一天
- ぐねぐねそうじブラシ
 - たかせ小6年 田中 結萌
- せん風機でくつかんそうき
 - 石田小6年 佐々木 星翔
- 下じき忘れないノートカバー
 - 優秀賞 石田小6年 宮崎 桜大

- 夜でもあんぜんがさ
 - 奨励賞 桜井小3年 竹内 翔登
- なんでも パックン
 - 優秀賞 村椿小6年 滑川 和香
- 早乾き ハンガー
 - 村椿小6年 松岡 隼汰
- らくらくキャップあけ
 - 奨励賞 中央小6年 寺崎 雅隆
- ラクラクパッチン
 - 奨励賞 桜井小6年 寺島 嵩
- 2ウェイ ペちゃんこボトル
 - 富山県教育委員会教育長賞
 - 荻生小6年 池田 泰嘉
- 風よけろうそく立て
 - 荻生小6年 藤田 駿
- 防災パーカー 荻生小6年 前田 彩綺
- キャンプにgood!こぼれな〜い飲み物立て
 - 宇奈月小6年 田中 冬愛
- 楽にハコベル
 - 富山県知事賞 鷹施中1年 紙谷 翔
- 水漏れストッパー
 - 発明協会会長奨励賞
 - 桜井中1年 内呂 勇揮
- 貼れるメモ帳 宇奈月中1年 清水 菜々子
- 消臭くつバサミ
 - 宇奈月中1年 東山 あづみ
- 新型・はずせ〜るタオル
 - 宇奈月中1年 百石 彩愛
- 除菌ティッシュメーカー
 - 宇奈月中2年 森田 英未
- 開く自転車カゴ
 - 優秀賞 桜井中3年 木村 紬
- 足腰に負担がかからないシャッター
 - 上げ下げアシスタント
 - 宇奈月中3年 勢田 富美雄
- マルチBOX 宇奈月中3年 齋藤 未夢



平成29年度 姉妹都市交流研修事業（メーコン・ビブ郡受入）

黒部市では「姉妹都市交流研修事業」として、アメリカ合衆国ジョージア州のメーコン・ビブ郡に中学生を派遣したり、ハイスクールの生徒を受け入れたりしています。昨年度は、11月7日から14日まで中学2・3年生16名を派遣しました。今年度は10月6日から14日まで、メーコン・ビブ郡からラトランドハイスクールの生徒15名（15～17歳）を受け入れました。日程の概要とホストファミリーの感想をお知らせします。

☆日程の概要

10/6(金)	日本に到着、東京に宿泊
7(土)	東京都内を観光、東京に宿泊
8(日)	黒部に到着、松桜閣や石田フィッシャリーナ見学、ホームステイ①
9(月)	ホストファミリーと1日を過ごし、ホームステイ②
10(火)	小水力発電所やくろべ牧場を見学、鷹施中学校訪問、ホームステイ③ (鷹施中学校では、3年生の書道、美術、技術の授業を体験)
11(水)	荻生小学校訪問、YKKセンターパーク見学、ホームステイ④ (荻生小学校では、英会話や体育の授業等に参加)
12(木)	市表敬訪問(姉妹都市提携40周年記念式典)、生地まち歩き、農村文化伝承館山本家に宿泊
13(金)	黒部峡谷トロッコ電車で観光、市内のホテルで宿泊
14(土)	帰国

☆ホストファミリーの感想

「ホストファミリーを経験して」

若 島 肇

障子の張り替え、天井のすす払い、風呂掃除に庭の草取り、そして部屋の模様替え。10月初旬、わが家は10年に1度の大掃除の毎日でした。メーコン・ビブ郡から黒部に姉妹都市交流に来る学生を、ホストファミリーとして気持ちよく受け入れるためです。学生は、わが家で4日間、寝泊まりをして過ごします。その間、何をしようか、何を食べようか、コミュニケーションはうまくいくだろうか、文化の違いに戸惑わないだろうか…等々、この一大イベントを乗り切るために毎日のように家族会議を開きました。他のホストファミリーとも受け入れ準備について頻繁に情報交換をしましたが、どの家庭もやっていること、準備していることは似たようなものでした。どうやら、黒部には「おもてなし」の文化が根付いているようです。

10月8日(日)、対面式を終えて、わが家に17歳の男の子がやってきました。ニックネームは“ショーン”。最初は、たどたどしくフルネームで呼んでいたのですが、彼から「僕はニックネームで呼ばれているんだ」と教えられ、気軽に「HEY! ショーン!」

と呼べるようになるまでに丸1日かかりました。その頃から、彼と私たち家族との距離がだんだん縮まってきたのです。

私たち家族は、ショーンとたくさん遊びました。黒瀬川での釣り、地元のお祭りに参加、大島キャンプ場でパークゴルフ、バッティングセンターで野球、夜は市民体育大会の練習に参加……。地域の方々の協力もあり、黒部での遊びを丸ごと楽しむことができました。

私たち家族は、ショーンとたくさん英語で話しました。私は、自分のスマートフォンに翻訳アプリを入れ、それを駆使しながら何とか会話をしようと思いました。でも、なかなかうまくいかないのです。そんなとき、大きな力になってくれたのが子供たちの存在です。わが家の子供たちは、これまでに学んだ英語の力を使って、自分なりに精一杯コミュニケーションを図ろうとしました。それが、途切れ途切れではあるけれども、ちゃんと通じているのです。その姿を見て、ショーンも、ゆっくりといねいに自分の思いを伝えようとし始めました。言葉や文化は違っても、子供たち同士の世界はあるようで、いつの間にか子供たちだけで遊んでいるときも、楽しそうな笑い声がわが家に響くようになりました。



最終日の夜、わが家では子供たちとショーンが計画したパーティーが開かれました。その中で、ショーンが提案するカードゲーム（トランプ遊び）をしました。私や妻は、カードのことを、ついつい「トランプ」と言ってしまい、そのたびにショーンは首をかしげていました。それを、子供たちが「これは”カード”だよ。“トランプ”って言うの大統領と間違えちゃう。」と注意します。初めての遊び方だったのですが、子供の対応力は早く、すぐにゲームを楽しむことができました。この夜は、ショーンと子供たちのおかげで4日間で一番盛り上がった時間となりました。10時を過ぎた頃、ショーンは自分の寝室に行き、私たち家族は、ショーンのいなくなったリビングで、ショーンと彼の家族にプレゼントするネックレスをつくりました。ショーンは同じ頃、私たちのために一人で手紙を書いてくれていたようです。

とうとうお別れの朝がやってきました。子供たちは、ショーンにネックレスをプレゼントしました。お返しに、ショーンは自分の思いを綴った手紙を読んでもくれました。みんな泣いてしまいました。

ショーンと過ごした時間はわずかでしたが、私たち家族に残してくれたものは、かけがえのない大切なものばかりでした。ショーンと過ごしたことで、子供たちは今まで以上に英語や外国の文化に興味をもち始めました。そして、私たち家族の絆が、今までよりも少しだけ深まりました。

